

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	080	事業名	健康づくり推進事業	担当部課	福祉部健康推進課
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち		会計区分	一般会計
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～		予算区分(款 一 項 一 目)	
	第6次総合計画・基本目標	✓ 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		4-1-2 予防費	
	法定受託事務の有無	✓	健康増進法		
	その他(関係計画、要綱等)	-			
事業開始の背景、経緯等	健康増進法に基づき平成15年度に策定した「健康づくり計画」を推進するため、平成16年度から事業を開始した。その後、平成25年度に「健康づくり計画(第2次)」を策定し、継続して健康づくり事業に取り組んでいる。				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 平成25年度に策定した「健康づくり計画(第2次)」に基づき、健康に対する啓発を目的に健康教育、8020・8520・9020運動、健康展、こころの体温計及び禁煙外来治療費助成を実施し、市民の健康づくり事業を推進していく。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の健康づくりを推進する。				
	事業を構成する事務事業(B票)	① 健康づくり計画推進事業	拡充	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)	千円		予算	2,995	2,878	3,162	3,468
決算				2,210	3,262	2,773	3,017	
人件費(B)	千円		決算	17,439	16,268	15,729	18,700	
総コスト(A)+(B)	千円		決算	19,649	19,530	18,502	21,717	

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A 事業参加者数	人	目標	10,900	11,100	11,300	13,600	16,200
			実績	16,085	9,330	13,377	16,084	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 健康づくりに取り組む市民を増やすため、参加者数増加を指標とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、健康日本21(第2次)市町村計画を策定し、健康づくり事業を実施。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 実績が前年度より上がり、目標を達成した。各取組の実績は健康教育3,411人、8520・9020運動31人、健康展1,000人、こころの体温計11,604人、禁煙外来治療費助成申請者数38人。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 平成27年度から一旦は事業参加者数が減少したが、健康マイレージ事業やラジオ体操事業等、新規の事業に取り組むことで、平成29年度から増加している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 事業の普及・啓発を図り、健康づくりに取り組む人を増やすと共に、継続した健康づくりへと繋げることが課題である。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民自ら健康づくりに取り組めるよう事業を実施する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 「健康づくり計画(第2次)」の最終年度である平成35年度までに、健康づくり事業に関わった年間延べ人数が目標である市人口の20%を継続して達成する。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・他の健康づくり関連事業との連携を図ってください。
------	-------------------------	---

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	健康づくり推進事業	担当部課	福祉部健康推進課	決算書ページ	—
事務事業名	① 健康づくり計画推進事業	予算区分	4-1-2 予防費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成16年度		終了(予定)年度	—

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 「健康づくり計画(第2次)」に基づき、市民に対して健康教育、8020・8520・9020運動、健康展、こころの体温計及び禁煙外来治療費助成を実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 健康に関する様々な知識を知ってもらい、生活習慣病の予防等、自ら健康づくりを推進する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
			(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)
事業費	千円	予算	2,995	2,878	3,162	3,468	3,385
		決算	2,210	3,262	2,773	3,017	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		印刷製本費				1,031	千円
(2)		消耗品費				493	千円
(3)		健康づくり推進事業委託				372	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
			(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)
参加者数	人	見込	10,900	11,100	11,300	13,600	16,200
		実績	16,085	9,330	13,377	16,084	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))> 【受診者数】							
健康教育3,411人、8520・9020運動31人、健康展1,000人、こころの体温計11,604人、禁煙外来治療費助成申請者数38人。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

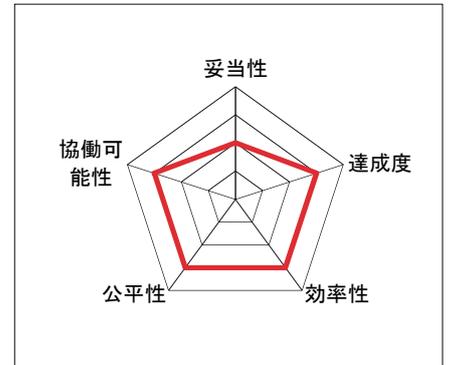
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 「健康づくり計画(第2次)」に基づき、継続して市民の健康づくりを推進する。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
3,468 千円	3,385 千円	△ 83 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	拡充	
・前年度【コメント】	今後も「ラジオ体操第一」の普及に取り組み、継続した健康づくりに繋げる。 全体的に事業の普及・啓発に取り組み、参加者の増加を図る	
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		
こころの体温計は、各種事業を通じて普及・啓発に取り組み、利用者が増加した。		

6. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
ラジオ体操交流会として、ラジオ体操の正しい実施方法についての実践と茶話会を通じた交流に取り組み、市民自ら健康づくりに取り組むきっかけづくりを図った。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
参加者数が前年度と比較し、健康教育、8520・9020運動、こころの体温計、禁煙外来治療費助成申請については増加し、事業全体では2,777人参加者数が増加した。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
事業の普及・啓発に努め、参加者の増加を図ることが必要である。

7. 今後の方向性

拡充